

バララット路面電車博物館

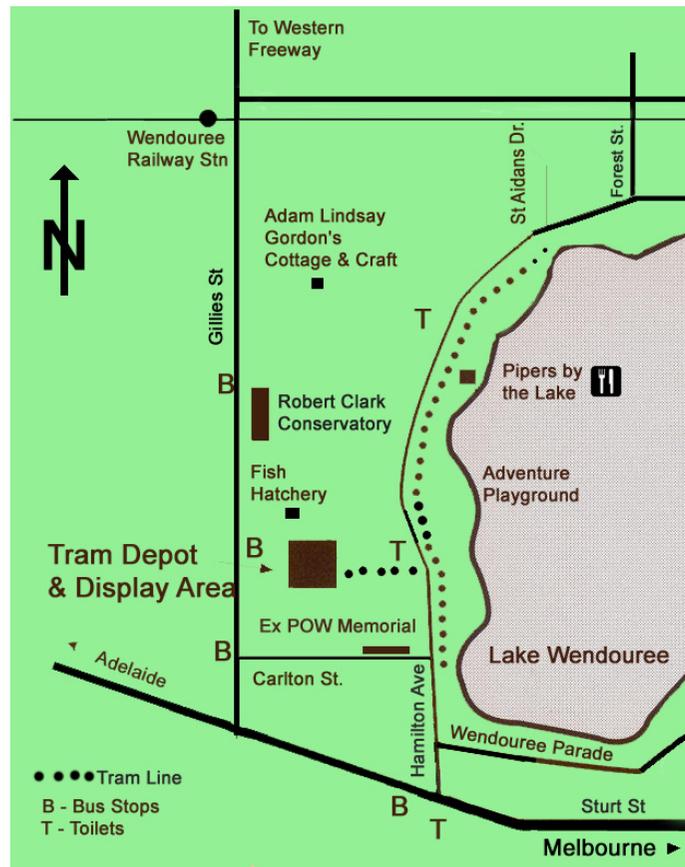
当博物館は、かつてバララットを走っていた路面電車の路線と車両をそのままの状態に保存するために運営されている博物館をさらに発展させることに力を注いでいます。路面鉄道が廃止される直前の1971年に設立された当館は、1974年以来、1887年に馬車式鉄道として開業された当時の路線の一部を使って営業を続けてまいりました。当館は、様々なバックグラウンドを持つ熱心なボランティアによって運営されています。

当館の会員は、バララット市の援助を受けながら、トラムと展示場を収容する車両基地を開設し、拡張するとともに、軌道や架線、車両の整備を行ってきました。ご予約いただければ、膨大な量の資料や写真を車両基地においてご覧いただくことができます。当館には、1887年当時の馬車式トラム1台、バララットの路面電車14台、より新型のメルボルンの路面電車数台が保存されています。

トラムやこの壮大なプロジェクトに興味をお持ちであれば、どなたでも、当館の会員にご加入いただけます。お問合せは、トラムの乗務員、郵便または当館のウェブサイトよりお願いいたします。ボランティアも随時募集しております。

車両基地の見学

植物園にお越しの際には、是非、当館の車両基地と展示場に足を延ばしてみたいはいかがでしょうか。車両基地の場所は、トラムの乗務員にお尋ねください。ご寄付も随時受け付けております。2ドルを超える額のご寄付は税金控除の対象となります。



営業時間

トラムは、一年を通じて、土日、祝日およびビクトリア州のスクールホリデー（一部を除く）に運行しております。

学校行事や団体旅行でのご利用もお待ちしております。結婚式や誕生日その他のイベントには、特別なトラムをご用意いたします。

営業時間等のお知らせにつきましては、ホームページをご覧ください。

お問合せ

P.O. Box 632 Ballarat, Victoria, 3353

電話およびFax (03) 5334 1580

www.btm.org.au info@btm.org.au



私どもの活動をご支援いただける方は、バララットのトラムに乗車した記念のおみやげを是非お求めください。お求めの際には、トラムの乗務員や駅職員にお声をおかけください。

ご乗車ありがとうございます うございます



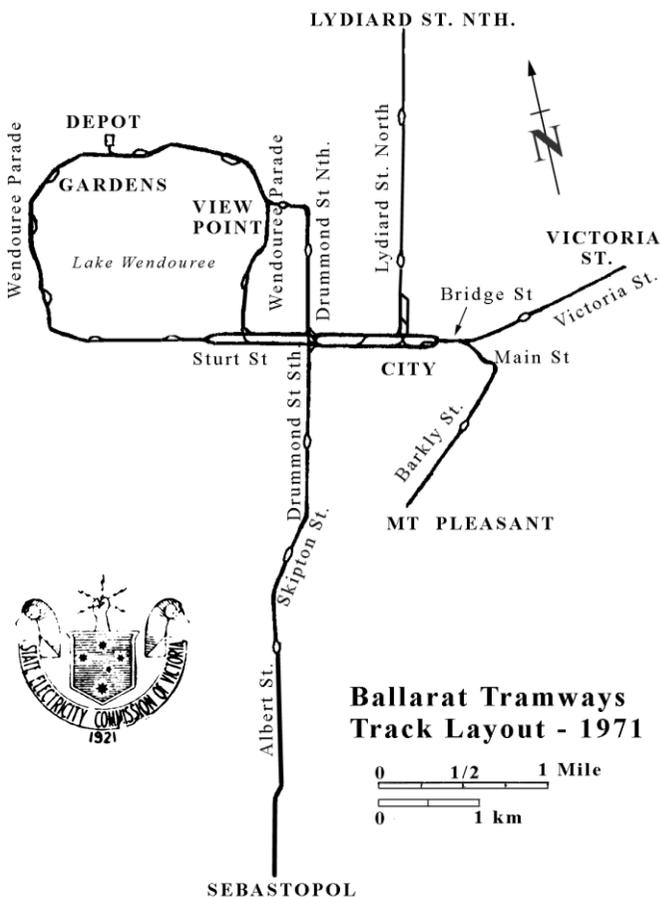
オーストラリア随一の本格的な路面電車の博物館をお楽しみください

歴史あるバララットの路面電車
ボランティアが運営する博物館

バララットのトラムは、バララットの歴史そのものです。

バララットの路面電車

バララットでは、1887年12月に、馬車式のトラムが運行を開始しました。トラムは非営利事業で、1905年から1913年にかけて、路面電車に置き換えられていきました。バララットの路面電車と発電は、民間企業であるElectric Supply Co. of Victoriaによって運営されていましたが、その後、1932年に、State Electricity Commission of Victoria (SECV) に受け継がれました。SECVは、1934年から1938年にかけて、路線を整備し直し、Lydiard St. Northまで路線を延長するとともに、さらに多くの中古車両を購入しました。バララットのトラムの最盛期は、1942年から1943年で、乗降客は約600万人に達しました。1960年代になると、利用客は徐々に減り、1971年9月、トラムは民営のバスに置き換えられました。



トラムの車両

当初、バララットのトラムは、二階建ての馬車式トラムでした。1887年に使われていた最古のトラムが当館に展示されており、車両基地においてご覧いただけます。バララットの路面電車が電化されると、1905年には、シドニーから、中古のケーブル式トラム車両がやってきました。バララット初の路面電車は、これらを改造したものです。現在、そのうちの1台が、1913年当時のトラムとともに、当館の車両基地に再現されています。



これらの車両が古くなるにつれて、さらに多くの中古車両がメルボルンやアデレードから購入されました。バララットのトラムは、主として、様々な色で彩られた一両編成（4車輪式）のトラムで、1930年から1971年まで営業を続けました。これらの車両は、バララットで使用されていたトラムの主流で、特に夜間には、車掌を乗せずにモーターマンと呼ばれた運転手一人で運行していました。1945年になると、さらに大きな8車輪式の車両がメルボルンから購入され、最盛期に活躍しました。この車両には、車掌の添乗を必要としました。バララットのトラムは男性優位の組織でした。女性は、第二次世界大戦中およびその直後に、車掌として従事しただけでした。



トラムの旅

皆様がご乗車になっているトラムの線路は、1971年に営業を終了したバララットの路面電車の跡です。木製の枕木の上に敷かれた鉄のレールが、ウェンドウリー・パレードの東側を単線で走っています。反対方向から来たトラムがすれ違えるようにするために、レイク・パビリオンとアダム・リンゼイ ゴードンの小屋の近くに、“すれ違い用の複線部”が設けられています。

トラムの停車駅には、軌道の上を走る架線を支える柱があり、そこに赤と白の模様が描かれているのが目に留まるはずですが、これは、バララットのトラムが受け継いできた伝統の一つです。さらに、乗務員は本来の制服を着用しています。通常、車掌は路線上の各駅で切符を切り、乗客の乗り降りを確認してから、運転手にベルを鳴らして合図します。このようにして、私たちはバララットのトラムを当時のままの姿で保存しているのです。

トラムは、オーストラリアの路面電車ですべてに用いられている600ボルトの直流で運行されています。



お手持ちの切符は、1960年初頭に発行されていたSECVの切符の複製で、十進法通貨制度以前の価格が記載されています。成人の切符は、1/-（1シリング）と表示されていますが、1966年にオーストラリアが十進法の通貨に変更した際には、10セントの価値を有していました。子供の切符は6d（6ペニー）で、5セントに相当しました。ホチキスで一まとめに留めた紙の切符は、オーストラリアの市街を走る公共交通で多く用いられていたものです。